

授業科目

医療福祉施設管理論

担当教員名 柴山 純一	対象学年	4	対象学科	情報
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
	○	◎		◎

授業の概要

医療福祉施設のみでなく一般的にも活用できる問題→原因、問題→解決策の検討手法と、質を考え改善するうえで有効な分析手法、安全管理の考え方を学習します。さらに、医療での活用事例についても理解します。

授業の目的

医療福祉施設の管理に必要な問題解決手法に関し、実務的な適用方法を理解する。

学習目標

1. 課題のまとめ方と解決策検討の方法について習得する。
2. TQM (Total Quality Management) 手法について学習し活用できる。
3. 医療福祉施設における質の管理と向上の必要性について理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	本講義のねらいと学習内容	講義	柴山 純一
2	問題解決手法 1	講義	柴山 純一
2	問題解決手法 2	講義	柴山 純一
4	問題解決手法 3	医療福祉施設における活用	柴山 純一
5	QC (Quality Control) とTQM 1	講義	柴山 純一
6	QCとTQM 2	講義	柴山 純一
7	QCとTQM 3	医療福祉施設における活用	柴山 純一
8	まとめ 1	演習	柴山 純一
9	安全管理 1	講義	柴山 純一
10	安全管理 2	講義	柴山 純一
11	CS (Customer Satisfaction)	講義	柴山 純一
12	評価と質の確保	講義	柴山 純一
13	臨床評価指標	講義	柴山 純一
14	損益分岐点分析	講義	柴山 純一
15	まとめ 2	演習	柴山 純一

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	講義時に使用するスライド等の資料をもとに行う					

評価方法

講義時不定期に行う課題と講義への参加姿勢をもとに評価を行う。

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

時間が取ればいつでも可能ですが、あらかじめメール等で連絡をもらえると助かります。
場所 ; IA507、連絡先 ; shibayama@nuhw.ac.jp